

みどりで、つなげる。
みんなが、つながる。



第41回 全国都市緑化かわさきフェア公式記録 Green For All KAWASAKI 2024 Record



Green For All KAWASAKI 2024

第41回 全国都市緑化かわさきフェア公式記録

Green For All KAWASAKI 2024 Record

全国都市緑化かわさきフェア

富士見公園、等々力緑地、生田緑地。

3つの公園をコア会場として、

『多様性』『体験・体感』『歴史・文化』という

様々な概念とみどりをかけあわせ、

新しいみどりの価値として、川崎らしく一人一人に。



私たちは、
視よう、この街の未来を。
つくろう、みどりの街を。

100年前、多摩川流域にみどりが広がるこの地で産声を上げた川崎は、
近代化の流れの中で、京浜工業地帯の中核を担う工業都市として、大きく発展してきました。
一方、大気汚染や都市型の環境問題に直面するとともに、宅地開発が進み、
みどりは大きく失われてきました。
市民、企業、行政は、これらを乗り越え、まちのみどりを少しずつ守り育ててきました。
次の100年に向けて、豊かなみどりを取り戻そう。





川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア
実行委員会会長

川崎市長

福田 紀彦

「第 41 回全国都市緑化かわさきフェア Green For All KAWASAKI 2024」は、「みどりで、つなげる。みんなが、つながる」のテーマのもと、全国初、秋と春の二期開催で令和 6 年 10 月 19 日から 11 月 17 日までの 30 日間、そして令和 7 年 3 月 22 日から 4 月 13 日までの 23 日間、合計 53 日間にわたり開催いたしました。

市制 100 周年を契機に、これまでの歴史を振り返り、改めて都市の中のみどりの価値を見つめ直し、次の 100 年に向けて、みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまちを目指し、新しいみどりの文化を醸成していく。そのきっかけとなるよう市民総参加型で会場やまちなかを彩り、約 162 万人の皆様に御来場いただきました。

川崎には、臨海部から多摩丘陵まで多様な自然があり、それぞれが多くの人の手によって育まれています。このような各地域のみどりの魅力を生かすため、南部の富士見公園、中部の等々力緑地、北部の生田緑地を中心に市内全域で取組を進め、川崎らしい都市の中のみどりの価値を、皆様に体感いただくことができました。

次世代を担うこども・若者たちも、たくさんの取組に参加してくれました。市立の小・中・特別支援学校全 170 校の児童・生徒による花づくり・花かざり、市内の高校生による壁面緑化のデザインと植え付け、大学生と企業による体験・体感型ガーデンの制作、大学生、市民団体、市民による里山管理で発生した竹材を用いた竹灯籠づくりなどの協働により会場が彩られました。また、日頃からボランティアの方々が守り、育てている色鮮やかな生田緑地ばら苑のバラが、皆様をお迎えいたしました。これらは全て、みどりによってもたらされている、つながりの輪です。

このかわさきフェアは、みどりを通じて、人と人、人と暮らしが緩やかにつながり、日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、心豊かな暮らしを生み出す、みどりのまちづくりに向けた礎となりました。

『みどりの KAWASAKI 宣言』のとおり、川崎でともに暮らし、働き、学ぶ全ての人々とともに、豊かなみどりを守り、育て、親しみ、人々が心豊かに暮らす 100 年先の未来に向けて、私たちは新たなステージへと歩みを進めます。

結びにかわさきフェアの開催にあたり、多大なる御尽力を賜りました皆様、そして御来場いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。



川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア
実行委員会副会長

公益財団法人都市緑化機構理事長

横張 真

「第 41 回全国都市緑化かわさきフェア」は、全国で初めてとなる秋期と春期の二期にわたる開催を実現し、市制 100 周年という記念すべき節目において、みどりの持つ多様な価値と可能性を力強く発信してまいりました。

会場となった富士見公園、等々力緑地、生田緑地という川崎市を代表する三つの総合公園では、「多様性×みどり」「体験・体感×みどり」「歴史・文化×みどり」といったテーマで構成され、それぞれの特性を生かした会場づくりがなされました。訪れた市民の皆様は、これまでにない新しい緑の在り方、そしてその魅力を五感で味わい、楽しむ貴重な体験をされたことと思います。また、会場づくりに多くの市民が参加されたことも大変印象深く、市民と行政が一体となった取り組みとして、まさに新たな都市緑化のモデルを示していたと言えます。

今回のかわさきフェアは、里山の保全、既存緑地の新しい活用、そして都市における新たな緑化の試みなど、多様な緑の存在形態に応じた価値の創造に挑戦し、これまでにない多様性に富んだスタイルでの開催となりました。川崎市が元々持つ「多様性を尊重するまち」としての特性がこのフェアを通じてより一層浮き彫りになり、緑と人々の関係が、新しい未来のコミュニティを育む可能性に満ちていることを実感する場でもありました。

今回発表された『みどりの KAWASAKI 宣言』にもあるように、このフェアは終着点ではなく、さらなる始まりの第一歩です。100 年先の未来へとつながる新たなステージへの幕開けであり、都市と自然の共存において川崎が日本全国、そして世界へと新たなモデルを発信していくことを強く期待しております。

長期にわたるフェアの準備・運営にご尽力いただいた皆様、実行委員会の皆様、そして温かく支えてくださった川崎市民をはじめとするすべての関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

第 41 回全国都市緑化かわさきフェアの会場づくりや
行催事などに関わっていただいた、フェア前からフェ
ア後も川崎で活動をしている「みどりでつながった」
皆様を、ほんの少しですが御紹介いたします。



富士見公園の農と自然のガーデンづくりを
行っていたいた一般社団法人 ONE 博 /
合同会社百穂の齋藤 集平さん

Enjoy greening !
- ころとまちにみどりを -



富士見公園のメインガーデンの
デザインを担当していただいた
合同会社根ノ町の櫻田 博高さん

歴史あるイベントに関わることができ、
大変光栄に思います。



生田緑地マネジメント会議の
緑化フェアプロジェクトリーダーを
務めていただいた井口 実さん

霧が湧き立ち見慣れた風景が一変、
中に入ると五感も研ぎ澄まされました。



等々力緑地のアクティブガーデンの制作に
学生として参加していただいた
三村 安澄さん

緑化フェアが川崎市職員になるきっかけ
になりました。今後は職員として、
まちのみどりに関わり続けます。



生田緑地ばら苑の展示・イベントを
実施していただいた
川崎市公園緑地協会の鈴木 直仁さん

ばら苑での取組が、実となり、
種となって広がりますように！



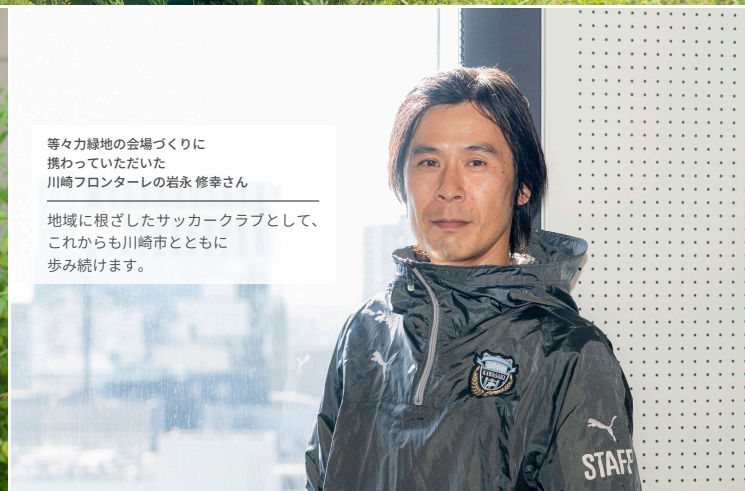
生田緑地の藍染めの展示を制作していただいた
川崎市伝統工芸館の皆さん

緑地の自然と一体となった藍染めの装飾
に、これからの可能性を感じました。



等々力緑地のハマダイコンプロジェクトを
実施していただいた
とどろき水辺の案校の鈴木 眞智子さん

生涯 TAMAGAWA LIFE
今までも、これからも多摩川の魅力を
発信していきます！



等々力緑地の会場づくりに
携わっていただいた
川崎フロンターレの岩永 修幸さん

地域に根ざしたサッカークラブとして、
これからも川崎市とともに
歩み続けます。



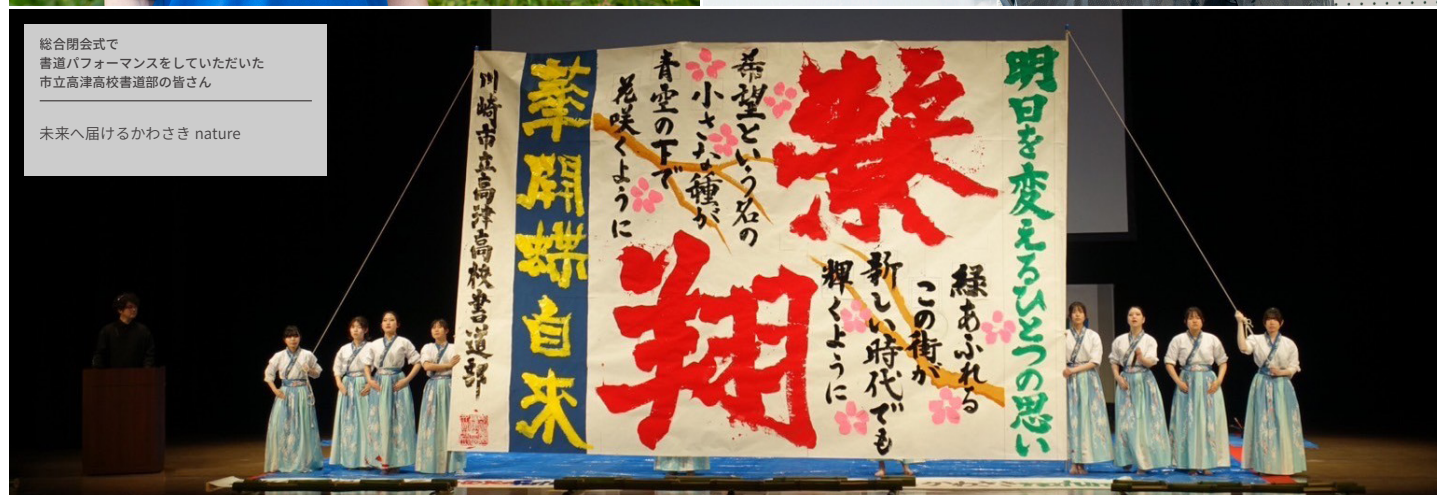
かわさきフェアのイベントを
企画立案・運営していただいた
Tribute Kawasaki 合弁会社の伊早坂 遼さん

5 年後、10 年後にもふと思い出すよう
な光景を目指して。
花や緑が彩る、これからも。



学校での協働の花づくりを
全校児童で実践していただいた
柿生小学校校長（当時）の杉本 眞智子さん

柿生小学校の創立 150 周年をお祝いし
て花いっぱいになりました。これからも川
崎市が緑あふれる街になりますように！



総合閉会式で
書道パフォーマンスをしていただいた
市立高津高校書道部の皆さん

未来へ届けるかわさき nature



生田緑地で「まちなか向日葵ほり隊」の
活動をしていただいた
園芸家の深町 貴子さん

心にタネをまくことで、人とまちを繋げて
花を咲かせたいと思います。



かわさきフェア幹事会の
幹事長を務めていただいた
東京農業大学の福岡 孝剛さん

Green For All - 自然と共生する都市、
社会づくりの輪を広げていきましょう -

Green For All KAWASAKI 2024

第41回全国都市緑化かわさきフェア

公式記録 目次

ごあいさつ.....

3

巻頭特集「みどりでつながった人たち」

5

グラビア編

オープニングセレモニー.....

9

総合開会式

11

富士見公園会場（秋開催）

13

等々力緑地会場（秋開催）

35

生田緑地会場（秋開催）

49

令和 6 年度全国都市緑化祭

65

富士見公園会場（春開催）

67

等々力緑地会場（春開催）

81

生田緑地会場（春開催）

97

総合閉会式

109

協働の取組

111

まちなかみどりスポット

117

カウントダウンイベント

119

広報・PR

121

記録編

第 1 章 全国都市緑化フェアの目的・基本理念

131

第 2 章 第 41 回全国都市緑化かわさきフェアの概要等

132

第 3 章 公式行事

135

第 4 章 協働推進

137

第 5 章 観客誘致・広報宣伝

139

第 6 章 協賛

146

第 7 章 会場

147

第 8 章 出展展示

157

第 9 章 植物調達・管理

164

第 10 章 行催事

173

第 11 章 飲食・物販

182

第 12 章 会場運営・管理

185

第 13 章 交通輸送

190

資料編

第 1 章 来場者数

193

第 2 章 来場者アンケート

195

第 3 章 経済波及効果

199

第 4 章 実行委員会組織体制等

200

第 5 章 第 41 回全国都市緑化かわさきフェア実行委員会会則

207

第 6 章 協賛企業・団体

213

Green For All KAWASAKI 2024

第41回全国都市緑化かわさきフェア

公式記録：グラビア編





ステージ全景



開会宣言
実行委員会副会長／公益財団法人都市緑化機構理事長 横張真



主催者挨拶 実行委員会会長／川崎市市長 福田紀彦



来賓祝辞
国土交通省都市局大臣官房審議官
鎌原宣文



来賓祝辞
神奈川県知事
黒岩祐治



来賓祝辞
実行委員会副会長／川崎市議会議員
青木功雄



2階入口外



1階 JA セレサ川崎花卉部の装飾



2階ロビー



会場間中継 リレー



会場間中継 生田緑地（レポーター）：
高橋万里恵さん



会場間中継 生田緑地ばら苑（レポーター）：
河邑美空さん



会場間中継 等々力緑地（レポーター）：
なすなかにしさん